

分分野施策・指標評価表<2-(3)在宅医療>

D 個別施策							
優先度	番号	個別施策	指標	基準年 (H29)	直近	結果	目標
	1	患者に対して、在宅医療に関する適切な情報提供を行う取り組みを実施する	活動状況を示す指標を採取				
追加欄							

C 初期アウトカム											
番号	1		すべての患者等に対し、在宅医療に関する普及啓発資料を活用するなど、情報周知を行う	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性	
	指標	がん相談支援センターを設置している拠点病院等数	6	6	→				S	C	A
	指標	がん患者指導の実施数 (医療機関数)	12	12 (H30)	→				S	C	A
	指標	退院支援担当者を配置している病院数	16.2	更新無し					S	C	B
	指標	退院支援担当者への研修会開催回数	5回	11回 (H30)					S	C	B
	指標	県民への普及啓発を目的に、在宅医療・在宅歯科医療に関する講演会の実施回	未実施	17回 (H30)					S	C	B
	指標	在宅医療・在宅歯科医療に関わる医療機関等の情報を県民へ提供した市町村数	21市町村	28市町村 (H30)					S	C	B
追加欄	指標										

B 中間アウトカム											
番号	1		在宅医療に関する適切な情報が周知されている	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性	
	指標	がん患者指導の実施数 (外来+入院) (レセプト件数)	1,888 1,067	1,166 1,040 (H31)	↗ ↘				P	B	A
	指標	退院するまでに、生活上の留意点について医療スタッフから十分な情報を得ることができた人 (体験調査問20-11)	沖縄79.7 岡山94.9 全国87.4 (H26)	沖縄73.1 愛媛85.8 全国71.1 (H30)					O	A	B
追加欄	指標										

\* ピンク: 第3次沖縄県がん対策推進計画の指標より  
 \* 黄色: 第7次沖縄県医療計画 (在宅医療分野)より  
 \* 色なし: 各部会での審議を元にしたもの

A 分野アウトカム												
番号	1		在宅医療を希望するがん患者とその家族が、希望する場所で必要な支援を受けて在宅	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性		
	指標	がん患者の在宅死亡率(%)	13.2	13.8 (H30)	→				O	B	B	
	指標	在宅がん医療総合診療科 (NDB-SCR)	115.0% 13.4%	110.6% 2 —					P	B	A	
	指標	望んだ場所で過ごせたがん患者の割合 (遺族調査問a-4)	調査無し	沖縄48.8 全国47.7 愛媛57.7 (H30)					O	A	B	
	指標	亡くなった場所で受けた医療に対する全般的な満足度 (遺族調査問b-4)	調査無し	沖縄68.0 全国71.1 大分82.2 (H30)					O	A	B	
	指標	痛みなく過ごせた患者の割合 (遺族調査問a-1)	調査無し	沖縄42.8 全国47.2 山形56.6 (H30)					O	A	B	
	指標	訪問診療を受けた患者数(65歳以上人口10万人あたり)	14,830.9人	更新無し					増加	P	C	B
	指標	歯科訪問診療を受けた患者数(65歳以上人口10万人あたり)	986.9件	更新無し					増加	P	C	B



番号 D 個別施策

番号 C 初期アウトカム

番号 B 中間アウトカム

番号 A 分野アウトカム

15	る医療用麻薬の提供体制等、在宅医療が適切に実施される体制を整備する	活動状況を示す指標を採取				→	1	の提供体制等、在宅医療が適切に実施される体制が整備できている	①訪問看護事業所の事業所数	36	41 (H30)	更新無し	増加	S	C	B
									② 同 従事者数(65歳以上人口10万人あたり)	162.0人	8	6 (H30)				
									③機能強化型事業所数							
16	県拠点病院は、緊急入院体制を整備する	活動状況を示す指標を採取				→	2	県拠点病院は、緊急入院体制を整備できている	①往診を実施している診療所数	103.8	104.9 (H30)	更新無し	増加	S	C	B
									② 同 病院数	6.5						
17	拠点病院及び地域がん診療病院は、緊急入院体制の整備に努める	活動状況を示す指標を採取				→	3	拠点病院及び地域がん診療病院は、緊急入院体制の整備ができている	①24時間対応体制を実施している訪問看護ステーション数	72	85 (H30)	更新無し	増加	S	C	B
									② 同 従事者数	143.0人						
17	在宅医療を提供する医師のうち、がん疼痛緩和医療ができる医師を増やす取り組みを行う。	活動状況を示す指標を採取				→	3	在宅医療を提供する医師のうち、がん疼痛緩和医療ができる医師を増やす取り組みができている	①在宅看取り(ターミナルケア)を実施している診療所数	27	更新無し	増加	S	C	B	
									② 同 病院数	6						
									①在宅医療支援診療所数	①33.1	①更新無し					
									②在宅医療支援病院数	②4.7	②更新無し					
								③在宅医療支援歯科診療所数	③14.0	③更新無し						
								④在宅医療支援薬局数	④26.9	④15.1 (H30)						
								訪問看護師の育成のための実習・研修会開催回数	2回	13回 (H30)	更新無し	増加	S	C	B	
								関係機関の連携体制構築ができた地区数	5地区	7地区 (H30)	更新無し	増加	S	C	B	

番号	D 個別施策
----	--------

追加欄							

番号	C 初期アウトカム
----	-----------

		老人ホーム職員及び介護職員に対する急変時対応、看取りに関する研修会開催回数	未実施	10回(H30)		増加	S	C	B
追加欄	指標								

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

番号	A 分野アウトカム
----	-----------